

『学校だより』令和2年度11月号

在籍数：小学部14名、中学部2名 合計16名

Escuela Japonesa de Panamá

パナマ日本人学校

TEL: 223-7782 269-4726 FAX: 264-4751

E-mail: japonesa@panama.lolipop.jp <http://panama.lolipop.jp/>



2学期も半分が経過しました

校長 小坂 誠二

パナマは10月からだんだんと経済活動が開始し、バルボア通りの車の数も日に日に増加しています。また、半年近く閉鎖中であったレストランもだんだんと開き始めてきています。トクメンの国際便も再開、道路工事やビルの建築など工事の音も以前のように響き渡り、活気が出始めているようです。

しかし、欧州やアメリカでは第3波が始まり、ロックダウンも再開という情報も流れています。半年間我慢してきたパナマだけに、このまま沈静化の方向へ進んでもらえるといいのですが、今はグローバル社会のせい、そう簡単にいかないと思われがちです。さて11月は、パナマの休日が集中していました。しばらくぶりの解放感がまたコロナの感染に影響しないかと心配されるところです。

日本に帰った子どもたちも各地の学校で運動会や中間テストを経験するなど、元気に活躍していることを教員で行う週末の打ち合わせで共有し、安心しているところです。2学期から丸本様ご家族が戻られ、在籍児童生徒数は16名になっています。



全校集会が始まりました（久々にみんなの元気な姿が見られました）

2学期から定期的に始めた全校集会。こんな時期でも児童生徒教員みんなで顔を合わせる時間を少しでももちたいと考えて、月1回週末金曜日、パナマ時間午後5時、日本時間翌土曜日朝7時に実施することとしました。

10月16日（日本17日）は、けん玉集会でした。このけん玉も一人でやるよりは皆で見合ったり、競争したりすることで楽しさが出てきます。久々にけん玉を操る子どもたちの姿でしたが、私たち教員にとっては、なんといっても元気な子どもたちの姿が見られたことが楽しい時間でもありました。

今月は、11月13日に予定しています。日本の皆さんもいろいろとご都合があるかと思いますが、ぜひ時間を都合されて参加してもらえればと願っています。

サンホセ日本人学校（コスタリカ）との交流学習

パナマから一番近くにある日本人学校、それはお隣のコスタリカにあるサンホセ日本人学校です。昨年度までの交流学習を継続し、オンラインでも一緒に時間を過ごすことになりました。

考えてみますと、新型コロナウイルスの影響が学校教育や生活に悪影響を与えていますが、日本の教育界もこれを機会にICT教育を一気に進めようとしています。また、考えてもみなかったオンライン授業があたり前のように毎日日本人学校では行われるようになっていきます。

このオンライン授業、こうして1000km近く離れた学校や友達と声だけでなく、顔を見合いながら交流できる時代になっているわけです。このことをきっかけに、一緒に授業をしたり、作品を紹介し合ったりもしています。サンホセの子どもたちも、日頃の閉塞感からかパナマの子どもたちと交流できるとなった時からたいへん湧き上がっていたようです。子どもたちの人格形成にとって社会性を育てることは、とても大切です。それには、いろいろな立場やいろいろな人たちとの「交流」「関わり」が大切です。それは子どものうちにこそ大切です。食べ物の好き嫌いも同じで、大人になってから苦手なものを好きにするのは大変困難ですから。

学校のHPに詳細が掲載されていますのでご覧ください。